

館山市立博物館開館 40 周年記念誌

10 年のできごと

2013～2023



館山市立博物館
Tateyama City Museum

開館 40 年にあたって

博物館には、先人が残した文化的遺産を後世に確実に伝えていくため、それを保管し、活用していく責務があります。その責務を果たすため、館山市は昭和 57 年 10 月に八犬伝博物館を、翌 58 年 11 月に博物館本館を開館しました。平成 21 年 4 月には、千葉県から県立安房博物館の移譲を受け、平成 23 年 2 月に渚の博物館（博物館分館）として開館し、市立博物館としての規模を拡大しました。

博物館 3 施設ともに城山公園内または渚の駅たてやま内に位置していることもあり、これまで市民のみならず市への来訪者（観光客ほか）に対する地域の歴史・文化の周知にも力を注いできたところです。

直近の 10 年間では、令和元年 12 月に指定管理者制度を導入し、八犬伝博物館の維持管理及び受付業務と博物館本館・分館の受付業務を指定管理者に担って貰うよう業務内容を変更したことが大きな転換点となっています。また、令和 2 年からは世界全体が深刻なコロナ禍に陥り、当博物館も運営面で様々な影響を受けました。指定管理者制度の導入により、浮世絵展の季節開催や、南総里見八犬伝を題材に用いた「謎解きゲーム」を年間開催するなど、制度導入前と比較してソフト事業開催の自由度が格段に向上しました。

今後もミュージアム・サポーターや指定管理者と連携して事業を実施していくと同時に、市民及び観光客等に博物館運営にこれまで以上に関心を持って頂けるよう努力していく所存です。

開館 40 年の節目の年を迎えて、施設の長寿命化や収蔵資料のデジタルアーカイブ化など、諸課題の解決に当たりながら、今後も「郷土博物館としての役割」を様々な形で果たせるよう、職員一同研鑽を積んでまいります。これまでと同様、今後も皆様方からのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和 5 年 1 月 23 日

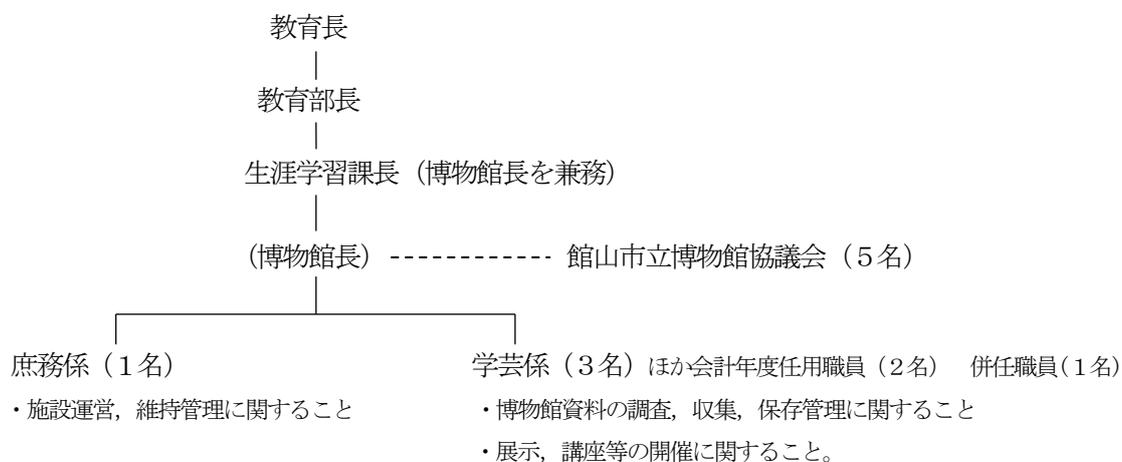
館山市立博物館長 三浦 太郎

目 次

I 組織と運営	2
（1 組織図 / 2 施設 / 3 指定管理者 / 4 館山市立博物館協議会）	
II 利用状況	4
（1 年度別入館者数 / 2 資料収蔵状況）	
III 展示事業	5
（1 企画展一覧）	
IV 教育・普及事業	7
（1 講演会 / 2 講座・教室 / 3 ミュージアム・サポーター）	
V 10 年間のおもなできごと	11

I 組織と運営

1 組織図 (令和5年度)



2 施設

(1) 本館

建築年月 昭和58年(1983)3月
開館日 昭和58年(1983)11月23日
所在地 館山市館山351-2
構造 鉄筋コンクリート造 地上2階地下1階
延床面積 1,957.90㎡



(2) 館山城 (八犬伝博物館)

建築年月 昭和57年(1982)3月
開館日 昭和57年(1982)10月31日
所在地 館山市館山362-1
構造 鉄筋コンクリート造 3層4階(天守閣様式)
延床面積 492.63㎡



(3) 分館 (渚の博物館)

建築年月 昭和48年(1973)2月
開館日 平成23年(2011)2月5日
所在地 館山市館山1564-1
構造 鉄筋コンクリート造 地上3階
延床面積 3611.78㎡



3 指定管理者

(1) 指定管理施設

- ① 館山城（八犬伝博物館）
- ② 博物館本館 ※受付案内業務のみ
- ③ 博物館分館 ※受付案内業務のみ
- ④ 城山公園ほか都市公園（計7か所） ※中央公園は維持管理のみ

(2) 指定管理者

（株）塚原緑地研究所 代表取締役 塚原道夫

(3) 期間

令和元年12月1日から令和6年11月30日（ただし、延長条件により更に5年間の期間延長可）

4 館山市立博物館協議会

(1) 委員（平成25年度～令和5年度）

氏名	役職等（在任時）	開始年	終了年
梶山林繼	國學院大學名誉教授	平成8年	現職
嘉村茂邦	秀明大学特任教授	平成22年	平成28年
小島孝夫	成城大学教授	平成22年	平成28年
山本志乃	旅の文化研究所主任研究員	平成22年	平成28年
石井則子	館山市社会教育委員	平成24年	現職
須田啓子	元家庭教育指導員	平成24年	現職
丸上俊雄	館山市立那古小学校長	平成26年	平成27年
池田俊郎	館山市立神戸小学校長	平成27年	平成30年
清本正人	お茶の水女子大学教授	平成28年	現職
金房 努	館山市立館野小学校長	平成30年	令和2年
押本正道	館山市立神余小学校長	令和2年	令和3年
相良和久	館山市立館山小学校長	令和3年	令和4年
神作正孝	館山市立館山小学校長	令和4年	現職

II 利用状況

1 年度別入館者数

(1) 本館・館山城入館者数

年度	市内		県内		県外		合計 (人)	開館日数 (日)	一日平均 (人)
	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)			
平成 25	5,907	11.4	18,239	35.3	27,558	53.3	51,704	310	166.8
平成 26	6,461	9.8	21,829	33.1	37,680	57.1	65,970	316	208.8
年度	市内		市外		不明		合計 (人)	開館日数 (日)	一日平均 (人)
	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)			
平成 27	5,573	8.8	57,992	91.2	—	—	63,565	312	203.7
平成 28	6,111	9.3	59,698	90.7	—	—	65,809	313	210.3
平成 29	6,457	10.9	52,829	89.1	—	—	59,286	312	190.0
平成 30	5,206	10.3	45,132	89.7	—	—	50,338	307	164.0
令和元	4,069	10.8	33,635	89.2	—	—	37,704	262	143.9
令和 2	3,698	7.7	44,338	92.3	—	—	48,036	257	186.9
令和 3	4,473	8.9	43,660	86.7	2,238	4.4	50,371	314	160.4
令和 4	3,983	6.5	55,942	91.6	1,165	1.9	61,090	315	193.9

註・平成 27 年度より居住地別の集計方法を変更した。

- ・令和元年 9 月 9 日～30 日および 10 月 12～13 日は台風により臨時休館とした。
- ・令和 2 年 2 月 29 日～5 月 31 日は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館とした。
- ・令和 3 年度以降の居住地不明分は、謎解きゲームによる入館者。

(2) 分館入館者数

年度	人数 (人)	開館日数	1 日平均 (人)
平成 25	128,846	349	369.2
平成 26	89,679	350	256.2
平成 27	136,194	352	386.9
平成 28	136,194	351	388.0
平成 29	167,229	351	476.4

年度	人数 (人)	開館日数	1 日平均 (人)
平成 30	204,399	355	575.8
令和元	184,010	354	519.8
令和 2	119,288	291	409.9
令和 3	189,844	351	540.9
令和 4	244,425	352	694.4

2 資料収蔵状況 (令和 5 年 3 月 31 日現在)

(1) 本館

	寄付	購入	移管	作成	採集	合計
点数	54,675	4,420	6,801	87	967	66,950

※他に寄託資料 30,525 点、借用資料 1,201 点がある。

(2) 分館 ※旧県立安房博物館の引継資料

	国指定重要有形民俗文化財	千葉県指定有形民俗文化財	その他	合計
点数	2,144	1,403	7,651	11,198

Ⅲ 展示事業

1 企画展一覧

年度	期間	日数	種類	展覧会名	入館者数
平成 25 (2013)	4.2～6.9	45 日	企画展	新収蔵資料展「あたらしい資料のご紹介」	13,242 人
	7.6～9.1	50 日	企画展	収蔵資料展「身近な神さま仏さま一祈りの図像学一」	7,932 人
	10.5～11.24	43 日	企画展	新・地区展「那古一いにしへの里と観音さまの町一」	7,350 人
	11.2～12.15	37 日	企画展	市立博物館開館 30 周年記念展「写真で振り返る博物館の歴史」	5,337 人
	11.22～12.5	12 日	企画展	市立博物館開館 30 周年記念展「展示ポスターにみる博物館の歴史」(分館)	2,822 人
	2.1～3.16	38 日	特別展	特別展「安房の干鰯一いわしと暮らす、いわしでつながる一」	4,549 人
平成 26 (2014)	4.5～4.20	16 日	特別公開	特別公開「復活した渡米漁民の万祝一米国モンローとの交流一」(分館)	4,217 人
	4.19～6.8	45 日	企画展	新収蔵資料展「あたらしい資料のご紹介」	14,615 人
	4.26～5.11	15 日	共催事業	南房総たてやまを描く絵画展 (分館)	8,124 人
	8.5～8.24	19 日	企画展	青木繁「海の幸」オマージュ展 (第 1 会場: 分館)	658 人
	8.5～8.31	26 日	企画展	青木繁「海の幸」オマージュ展 (第 2 会場: 館山市コミュニティセンター)	13,441 人
	9.6～10.9	38 日	特別展	里見氏安房国替 400 年特別展・第 I 期「里見氏の遺産・城下町館山一東京湾の湊町一」	6,729 人
	11.1～12.14	38 日	企画展	新・地区展「北条一にぎわう安房の玄関口一」	6,397 人
	2.14～3.22	33 日	特別展	里見氏安房国替 400 年特別展・第 II 期「里見氏の遺産・古文書」	6,521 人
平成 27 (2015)	4.18～5.24	36 日	企画展	後藤義光生誕 200 年記念企画展「房州彫物職人の技」(分館)	9,273 人
	7.11～9.6	50 日	企画展	終戦 70 年企画 収蔵資料展「戦時のたてやま」	9,582 人
	10.1～11.29	44 日	企画展	新・地区展「西岬一海の信仰が息づく地一」	7,308 人
	2.6～3.21	39 日	特別展	特別展「館山藩一稲葉家と藩士たち一」	7,793 人
平成 28 (2016)	5.28～7.10	39 日	企画展	新収蔵資料展第 I 期「あたらしい資料のご紹介」	5,660 人
	7.16～9.4	44 日	企画展	新収蔵資料展第 II 期「鈴木日出児という画家」	9,247 人
	10.8～11.27	44 日	企画展	新・地区展「神戸一神々と共に生きる里一」	8,138 人
	2.4～3.20	39 日	企画展	収蔵資料展「装いの用と美」	8,965 人
平成 29 (2017)	4.29～6.11	38 日	企画展	新収蔵資料展「あたらしい資料のご紹介」	9,438 人
	7.15～9.3	44 日	企画展	収蔵資料展「どうぶつ大集合」	8,695 人
	9.9～10.1	20 日	企画展	那古寺開創 1300 年記念展「繡字法華経の世界一受	3,468 人

				け継がれた宝物―	
	10.14～11.26	38日	企画展	新・地区展「富崎―海と生きる人々―」	6,169人
	2.3～3.18	38日	企画展	明治150年記念企画展「近代化する館山―明治時代の殖産興業―」	7,515人
平成30 (2018)	4.28～6.10	39日	企画展	新収蔵資料展「あたらしい資料のご紹介」	9,513人
	7.28～9.24	51日	企画展	収蔵資料展「美しいもよう」	8,364人
	10.6～11.25	45日	企画展	新・地区展「豊房―豊かな水と暮らす人々―」	6,493人
	2.2～3.17	38日	特別展	特別展「房州と江戸・東京―海を行き交う人・モノ・文化―」	6,183人
令和元 (2019)	4.27～6.23	51日	企画展	新収蔵資料展「あたらしい資料のご紹介」	10,700人
	7.6～11.24	102日	企画展	館山駅開業100周年記念展「鉄道がまちにやってきた」	10,096人
	7.26～2.28	177日	企画展	市制施行80周年記念展「館山の昭和と平成」	19,045人
	2.15～2.28	12日	企画展	共同展示「デジ文展～デジタル化による地域の文化財の可能性～」	1,805人
令和2 (2020)	6.2～7.26	48日	企画展	新収蔵資料展「あたらしい資料のご紹介」	4,557人
	8.1～10.4	56日	企画展	収蔵資料展「健康地・房州」	10,508人
	11.14～12.27	38日	企画展	新・地区展「館野―豊かな歴史を受け継ぐ地―」	9,456人
	2.6～3.21	38日	企画展	企画展「武士たちの明治」	11,940人
令和3 (2021)	4.24～6.27	56日	企画展	新収蔵資料展「あたらしい資料のご紹介」	8,917人
	6.15～12.26	189日	パネル展	パネル展「安房分院の磨崖碑―渋沢栄一と館山― (分館)」	126,903人
	7.10～9.20	63日	企画展	収蔵資料展「楽しいもじ」	11,587人
	11.6～12.28	45日	企画展	新・地区展「九重―恵み豊かな里の人々―」	10,847人
	2.5～3.21	39日	企画展	企画展「よみがえる近代安房の風景―川名写真館の世界―」	10,014人
令和4 (2022)	4.16～6.5	45日	企画展	新収蔵資料展「あたらしい資料のご紹介」	11,683人
	6.16～9.19	79日	企画展	収蔵資料展「里見家断絶とその後の安房の人々―里見忠義没後400年」	12,064人
	10.29～12.25	50日	企画展	新・地区展「館山―城と湊のまち―」	9,250人
	2.4～3.21	46日	企画展	企画展「供養する人々」	9,523人
令和5 (2023)	4.22～5.28	32日	企画展	新収蔵資料展「あたらしい資料のご紹介」	7,328人
	7.29～10.9	73日	企画展	企画展「関東大震災と館山」	11,761人

IV 教育・普及事業

1 講演会

年度	月日	演題	講師	参加者数
平成25 (2013)	2. 11	海が語る房総と浦賀湊	安池尋幸氏（横須賀市自然・人文博物館学芸員）	47人
平成26 (2014)	9. 23	城下町の歴史—中世から近世へ	小島道裕氏（国立歴史民俗博物館教授）	52人
平成27 (2015)	3. 12	江戸時代の藩社会と地域社会	馬場弘臣氏（東海大学教育研究所教授）	94人
平成29 (2017)	9. 9	那古寺奈良写経と繡字法華経について	宇都宮啓吾氏（大阪大谷大学教授）	84人
平成30 (2018)	2. 2	近世の房総—特に安房、交流と地域—	落合功氏（青山学院大学経済学部教授）	124人
令和5 (2023)	10. 1	くり返す巨大地震が生んだ館山の大地（ふるさと講座プラス「関東大震災と館山」内にて実施）	宍倉正展氏（国立研究開発法人産業技術総合研究所）	167人

2 講座・教室

年度	月日	講座名	参加者数
平成25 (2013)	日曜・祝日	歴史教室「甲冑を着よう」	669人
	6. 15	甲冑士養成講座	4人
	6～3月	歴史教室「古文書を読んでみよう」(全10回)	1,032人
	6～3月	ピックアップ八犬伝(全6回)	153人
	6～3月	安房学講座(全8回)	378人
	7. 28	城山(館山城跡)探検隊	8人
	8. 10	夏休み子ども歴史教室「昔の道具を使ってみよう」	16人
	8. 29～9. 3	博物館実習	2人
	10. 27	歴史教室「わたしの町の歴史探訪」第32回 那古	34人
平成26 (2014)	日曜・祝日	歴史体験教室「甲冑を着よう」	740人
	5. 24	ミュージアム・サポーター(絵図士)養成講座「文化財の調べ方—石造物調査と拓本の取り方—」	11人
	6. 28	ミュージアム・サポーター(甲冑士)養成講座	3人
	6～2月	歴史教室「古文書を読んでみよう」(全5回)	518人
	6～2月	安房学講座(全8回)	479人
	11. 9	歴史教室「わたしの町の歴史探訪」第34回 南町・新宿・長須賀	41人
	3. 1	歴史教室「わたしの町の歴史探訪」第33回 館山城下町 ※10月実施予定のところ、荒天により延期。	36人
平成27	日曜・祝日	歴史体験教室「甲冑を着よう」	766人

(2015)	6.13/7.11	歴史教室「活弁八犬伝」	39人
	6.27	甲冑士養成講座	2人
	6～3月	歴史教室「古文書を読んでみよう」(全10回)	947人
	6～3月	安房学講座(全8回)	505人
	9.3～9.9	博物館実習	2人
	11.1	歴史教室「わたしの町の歴史探訪」第35回 伊戸・坂足・小沼・坂井	49人
平成28 (2016)	日曜・祝日	歴史体験教室「甲冑を着よう」	756人
	6.25	甲冑士養成講座	2人
	6～2月	安房学講座(全8回)	511人
	6～3月	歴史教室「古文書を読んでみよう」(全10回)	132名×10回
	7.23/9.10	歴史教室「活弁八犬伝」	35人
	8.5/8.19	なつやすみ宿題大作戦～調べよう！たてやまのこと～	8人
	8.25～9.1	博物館実習	1人
	11.6	歴史教室「わたしの町の歴史探訪」第36回 洲宮・茂名	49人
平成29 (2017)	日曜・祝日	歴史体験教室「甲冑を着よう」	626人
	6.24	甲冑士養成講座	4人
	6～2月	安房学講座(全8回)	432人
	6～3月	歴史教室「古文書を読んでみよう」(全10回)	129名×10回
	7.27/8.10	なつやすみ宿題大作戦～調べよう！たてやまのこと～	42人
	7.29/8.26	歴史教室「活弁八犬伝」	33人
	11.5	歴史教室「わたしの町の歴史探訪」第37回 相浜・布良	20人
平成30 (2018)	日曜・祝日	歴史体験教室「甲冑を着よう」	493人
	6.30	甲冑士養成講座	2人
	6～3月	歴史教室「古文書を読んでみよう」(全10回)	116名×10回
	6～3月	安房学講座(全8回)	556人
	7.31/8.6	なつやすみ宿題大作戦～調べよう！たてやまのこと～	40人
	8.25/9.29	歴史教室「活弁八犬伝」	41人
	9.5～9.11	博物館実習	1人
	10.28	歴史教室「わたしの町の歴史探訪」第38回 南条・飯沼・古茂口	43人
令和元 (2019)	第2・第4月曜	歴史体験教室「甲冑を着よう」	102人
	6～3月	歴史教室「古文書を読んでみよう」(全10回予定のところ8回実施)	109名×8回
	7.30/8.6	なつやすみ宿題大作戦～調べよう！たてやまのこと～	12人
	8.24/10.26	歴史教室「活弁八犬伝」	23人
	8.29～9.4	博物館実習	3人
令和2 (2020)	7～2月	歴史教室「古文書を読んでみよう」(全8回)	92名×8回
	8.27～9.2	博物館実習	5人
	8.29/10.31	歴史教室「活弁八犬伝」	18人
	12.6	歴史教室「わたしの町の歴史探訪」第39回 稲	25人
令和3	6～3月	歴史教室「古文書を読んでみよう」(全8回)	105名×8回

(2021)	7.29/8.5	なつやすみ宿題大作戦～調べよう！たてやまのこと～	9人
	8.26～8.31他	博物館実習（新型コロナウイルス感染防止策として、3回に分けて実施）	5人
	11.21	歴史教室「わたしの町の歴史探訪」第40回 菌・二子	21人
令和4 (2022)	6.26～10.22	分館収蔵資料解説会	21人
	6～1月	歴史教室「古文書を読んでみよう」（全8回）	114名×8回
	7.26/7.27	なつやすみ宿題大作戦～調べよう！たてやまのこと～	12人
	8.27/10.29	歴史教室「活弁八大伝」	25人
	9.14～9.22	博物館実習	1人
令和5 (2023)	11.20	歴史教室「わたしの町の歴史探訪」第41回 上真倉・下真倉	22人
	6～1月	歴史教室「古文書を読んでみよう」（全8回）	119名
	8.6/8.26	なつやすみ宿題大作戦～関東大震災を調べよう！～	11人
	9.13～9.15/ 9.19～9.21	博物館実習	4人
	10.1	ふるさと講座プラス・歴史探訪「震災の足跡をめぐる」	31人



市図書館と共同開催「なつやすみ宿題大作戦」（平成28年）



歴史教室「わたしの町の歴史探訪」（平成30年）

3 ミュージアム・サポーター

(1) 甲冑士

体験教室「甲冑を着よう」の甲冑着用ボランティアとして、平成19年度から活動を開始しました。甲冑士は養成講座を受講した後、3回の実地研修を経て認定されます。体験教室のほか、2か月に1度例会を開催し、情報の共有や、甲冑や戦国時代に関する学習を行いました。来館者へ甲冑の着付けを行いながら、解説を行う着用体験はリピーターもいる人気の事業でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年3月より活動を休止しました。令和3年度をもって事業を終了し、甲冑士は解散しました（終了時の登録者13名）。



甲冑士養成講座（平成26年）

(2) 絵図士

博物館内で無料配布している文化財マップを作成するボランティアです。当初は中央公民館のふるさと講座の活動として文化財マップを作成しており、平成19年度から博物館のミュージアム・サポーターとして活動を開始しました。令和5年11月現在の登録者数は15名です。

平成25年度以降に当館で作成した文化財マップは以下のとおりです。

■絵図士作成

名 称
鏡忍寺<鴨川市>
三福寺<館山市>
石彫師 武田石翁を訪ねて1 (館山市編)
石彫師 武田石翁を訪ねて2 (南房総市編)
石彫師 武田石翁を訪ねて3 (鋸南町・鴨川市編)
日枝神社<南房総市白間津>
大山不動と高蔵神社<鴨川市>
法性寺<館山市>
来福寺<館山市>
沼蓮寺<南房総市>
光明院と諏訪神社<館山市>
加知山神社<鋸南町>
長福寺<館山市>
智蔵寺<南房総市>
わたしの町の歴史探訪 南条・飯沼・古茂口
子安神社<南房総市>
房州と江戸・東京を結ぶ文化財1 (海岸北部編)
房州と江戸・東京を結ぶ文化財2 (平野部編)
房州と江戸・東京を結ぶ文化財3 (市南部編)

名 称
館山市に残る関東大震災の記念碑と痕跡
弘法大師伝説を訪ねて
日蓮上人とその伝説 内房編
日蓮上人とその伝説 鴨川編
わたしの町の歴史探訪 稲区と稲村城跡
やわたんまちと出祭神社
安房の芭蕉句碑1 (鋸南町・館山市編)
安房の芭蕉句碑2 (南房総市・鴨川市編)
安房の芭蕉句碑3 (鴨川市編)
館山市内で見られる道しるべ
石彫家俵光石の作品を訪ねて
田原長左衛門と石工俵家の世界
神余日吉神社・安楽院跡<館山市>
山本御嶽神社<館山市>
里見家の女性
相浜神社<館山市>
西長田観音院<館山市>

■博物館職員作成

名 称
わたしの町の歴史探訪 那古
わたしの町の歴史探訪 館山城下町
わたしの町の歴史探訪 南町・新宿・長須賀
わたしの町の歴史探訪 伊戸・坂足・小沼・坂井

名 称
わたしの町の歴史探訪 洲宮・茂名
わたしの町の歴史探訪 相浜・布良
わたしの町の歴史探訪 藪・二子
わたしの町の歴史探訪 上真倉・下真倉

V 10年間のおもなできごと

年度	月日	内 容
平成25 (2013)	9. 6	本館・館山城、全館燻蒸のため臨時休館（～9. 11）
	11. 23	本館、開館30周年を迎える
	11. 30	本館で「モンレー万祝」複製制作報告会を開催
	1. 1	里見氏安房国替400年、および『南総里見八犬伝』刊行開始200年を迎える（～12. 31）
	3. 14	館山城（八犬伝博物館）の改修工事が終了
平成26 (2014)	4. 1	日本海事科学振興財団の助成により、里見氏安房国替400年特別展「里見氏の遺産・城下町館山—東京湾の湊町—」および関連事業を開催（～3. 31）
	10. 22	沖縄県立博物館・美術館へ沖ノ島遺跡出土遺物を貸出
	2. 28	里見氏安房国替400年特別展関連事業として『館山城下町資料調査報告書』を発行
平成27 (2015)	5. 8	金谷美術館へ「新八犬伝」人形・八犬伝錦絵他を貸出
	6. 13	歴史教室「活弁八犬伝」開始
平成28 (2016)	4. 28	本館で「めざましどようび」（フジテレビ）撮影、甲冑着用体験を紹介
	6. 23	分館で「フィッシングカフェ」（釣りビジョン）撮影
	8. 5	図書館との共同企画「なつやすみ宿題大作戦」開始
	9. 21	行田市郷土博物館へ海防関係資料貸出
	9. 28	東北歴史博物館へ捕鯨関係資料貸出
	10. 30	韓国国立民俗博物館による服飾資料調査
	12. 6	館山城でさかなクン出演の市紹介PV撮影
	12. 10	真田宝物館による資料調査
	1. 4	館山城で舞台「里見八犬伝」PR番組（日本テレビ）の撮影
	2. 23	館山城前で「みんなのニュース」（フジテレビ）内天気予報生中継
平成29 (2017)	4. 1	市立博物館設置条例を改正し、観覧料を変更
	4. 25	館山城で「ぶらぶらサタデー」（フジテレビ）撮影、路線バスの旅コーナーで館山城を紹介
	5. 19	「チュバチュバワンダーランド」（チバテレビ）撮影、館山城と甲冑着用体験を紹介
	5. 23	NHKラジオ千葉放送局で新収蔵資料展を紹介、学芸員が生放送に電話出演
	7. 16	入館者200万人を達成
	8. 2	山梨県の慈眼寺へ資料（繡字法華経）調査
	9. 13	NHKで那古寺開創1300年記念展を紹介
	9. 20	木更津市郷土博物館金のすずへ真里谷武田氏関係資料貸出
	9. 26	千葉県立現代産業科学館へ漁業関係資料貸出
	2. 14	和歌山県立紀伊風土記の丘による資料調査
	3. 31	『博物館で学ぶ！八犬伝まるわかりBOOK』（初版）を発行
平成30 (2018)	6. 20	本館・館山城、全館燻蒸のため臨時休館（～6. 25）
	7. 26	「ハートネットTV」（NHK）撮影、館山城を紹介
	8. 21	金谷美術館へ八犬伝資料貸出

	8. 22	和歌山県立紀伊風土記の丘へ大寺山洞穴出土遺物貸出
	9. 10	寄贈された「八房と狸」像を館山城に展示
	9. 11	群馬県立土屋文明記念文学館へ八犬伝資料貸出
	9. 24	千葉県立中央博物館大多喜分館へ館山藩土所用兜ほか貸出
	10. 11	富山県水墨美術館へ岩崎巴人作品貸出
	10. 25	「偉人たちの健康診断」(NHK) 撮影、曲亭馬琴を紹介
令和元 (2019)	6. 4	博物館所蔵の万祝型紙を活用し、千葉大学デザイン文化計画研究室が制作した商品販売開始
	6. 6	横浜歴史博物館へ北賢哲書状貸出
	7. 22	韓国国立民俗博物館と日本の国立歴史民俗博物館の主催による国際企画展示に展示するため漁具等を貸出
	7. 30	「おはよう首都圏」(NHK) 取材、地曳網漁絵馬を紹介
	8. 15	舞台「里見八犬伝」のPR番組取材(日本テレビ)
	8. 27	城西国際大学水田美術館へ八犬伝錦絵等貸出
	9. 10	令和元年房総半島台風の被災により、本館・館山城臨時休館(～9. 30)
	9. 18	千葉県立現代産業科学館へ海女着衣・水眼鏡等貸出
	10. 2	安房3市1町の学芸員・文化財担当者の連携により、台風被災資料に関する相談を呼びかけ
	10. 12	台風19号により本館・館山城臨時休館(～10. 13)
	11. 5	JSPS科学研究費「鎌倉期における金銅仏鑄造法の実証研究」チームへ那古寺銅造千手観音像レプリカ貸出
	12. 1	館山城および本館・分館(ともに受付業務)等について、指定管理者制度の導入
	1. 20	京都国立博物館へ那古寺所蔵観世音経(寄託資料)を貸出
2. 29	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本館・館山城臨時休館(～5. 31)	
令和2 (2020)	4. 6	緊急事態宣言発出を受け、分館臨時休館(～5. 31)
	4. 17	館山市WEBサイトに「おうちミュージアム」掲載開始
	4. 19	房日新聞「自宅でじっくり考えよう!古文書クイズにチャレンジ」の問題提供開始
	5. 1	WEBサイト「たてやまフィールドミュージアム」をサーバー変更に伴いリニューアル
	6. 1	令和元年房総半島台風の体験文・写真募集を開始(～8. 31)
	6. 5	本館収蔵資料展をチバテレビニュースが取材
	7. 1	川名写真館寄贈資料約7,000点の整理終了
	7. 20	新型コロナウイルス感染防止のため、集会室の机を長机から1人用机に変更
	8. 19	文化庁文化審議会専門委員が重要有形民俗文化財「房総半島の漁撈用具」の保存状況確認のため来館(分館)
	8. 26	新型コロナウイルス感染防止のため、本館トイレ手洗器の自動水栓化改修工事
	9. 8	千葉大学デザイン文化計画研究室制作の動画「地域の文化財とデザイン」を市公式YouTubeチャンネルに掲載
	9. 11	分館で「釣りびと万歳」(NHK) 撮影
	9. 16	県立中央博物館大多喜分館へ万祝関係資料貸出
	10. 14	千葉市科学館へグリーンナー砲等貸出
12. 18	本館屋外展示場補修工事(～2. 22)	

	1. 26	分館で「ガレッジセールのアリタラドコ旅」(チバテレビ) 撮影
	1. 27	鴨川市郷土資料館へ富士講関係資料貸出
	2. 16	常設展示替え作業のため館山城を休館 (～2. 17)
令和3 (2021)	4. 30	近代海運記念碑受贈式を実施。屋外展示場にて公開開始
	5. 31	新型コロナウイルス感染防止のため、本館トイレの洋式改修工事
	8. 27	水中遺跡調査検討委員会による「水中遺跡ハンドブック」作成調査
	9. 8	和歌山県紀伊風土記の丘へイソガネ等貸出
	10. 4	本館屋上防水改修工事 (～1. 14)
	10. 20	国立歴史民俗博物館による資料の複製制作調査
	10. 22	「ひるナマ! 北海道」(NHK) で当館の「おうちミュージアム」を紹介
	12. 21	千葉県立中央博物館へ万祝等貸出
	1. 3	国立劇場「通し狂言南総里見八犬伝」へ八犬伝関係画像等提供
令和4 (2022)	6. 15	館山城展望階の壁補修を実施 (～8. 5)
	8. 3	新型コロナウイルス感染防止策として本館・館山城の入口に顔認証型検温機を設置
	8. 25	新型コロナウイルス感染防止策として本館・館山城に空気清浄機を設置
	10. 31	館山城が開館40周年を迎える
	1. 28	分館収蔵庫消防設備を改修
令和5 (2023)	4. 1	博物館法改正に伴い、市立博物館設置条例を改正
	6. 1	本館・館山城、全館燻蒸のため臨時休館 (～6. 8)
	7. 29	千葉県誕生150周年記念事業補助金により、企画展「関東大震災と館山」および関連事業を実施 (～10. 9)
	9. 23	館山市事業仕分けにおいて博物館管理運営費が対象事業となり、本館・館山城・分館の全施設が「現状維持・拡充」と評価される
	11. 23	本館、開館40周年を迎える

館山市立博物館開館 40 周年記念誌

10年のできごと 2013～2023

発行日 令和5年11月23日

編集・発行 館山市立博物館

〒294-0036 千葉県館山市館山 351-2

TEL 0470-23-5212 FAX 0470-23-5213